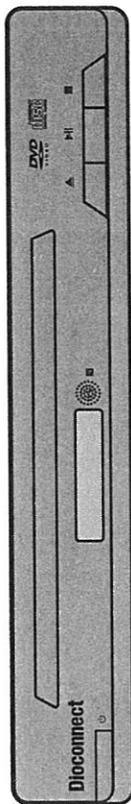


AucSale

**DVD PLAYER
DVP-1100CPRM
「CPRM方式対応」**

取扱説明書



本書には、重要な注意事項や製品のお取り扱い方法が記載されています。よくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。



もくじ

もくじ	2
はじめに	5
本取扱説明書の内容について	5
リージョン番号について	5
セット内容	5
安全上の注意	6
使用上のお願ひ	10
ディスクの取り扱いと用語	11
再生できるディスクについて	11
各部のなまえ	13
本体前面	13
本体背面	13
ディスプレイ	13
リモコン	14
リモコンの準備	15
電池を入れる	15
リモコンの使用方法	15
電源について	16
電源コードを接続する	16
外部機器と接続する	17
コンボジット映像入力端子搭載のテレビと接続する	17
S映像入力端子搭載のテレビと接続する	18
コンポーネント映像入力端子搭載のテレビと接続する	19
ドルビーデジタル内蔵アンプと接続する	20
基本操作	21
電源のオン/スタンバイ	21
ディスクをセットする/取り出す	21
再生を開始する	22
再生を一時停止する	22

再生を停止する	22
前・次へ移動する	22
早送り/早戻し再生をする	23
コマ送り再生をする	23
スロー再生をする	23
リピート再生をする	24
A-Bリピート再生をする	24
ランダム再生をする	25
ズーム再生をする	25
音量を調整する	25
消音にする	25
画面表示	26
画面にディスク情報を表示する	26
言語を切り換える	27
音声言語を切り換える	27
字幕言語を切り換える	27
映像・音声出力を切り換える	28
映像出力を切り換える	28
音声出力チャンネルを切り換える	28
プログラム再生する	29
プログラム設定をする	29
頭出し再生をする	30
前後のチャプター/トラック/ファイルを頭出しする	30
メニュー/タイトルで頭出しする	30
サーチ機能をつかう	31
DVD再生中にサーチ機能をつかう	31
DVD停止中にサーチ機能をつかう	31
その他の設定をする	31
CDでサーチ機能をつかう	32
その他の機能	33
アングル(角度)を切り換える	33
レジューム機能をつかう	33

プレイバックコントロール機能をつかう	33
動画ファイルを再生する	34
動画ファイル再生の操作方法	34
再生機能の基本操作	34
音楽ファイルを再生する	35
音楽ファイル再生の操作方法	35
再生機能の基本操作	35
静止画ファイルを再生する	36
静止画ファイル再生の操作方法	36
再生機能の基本操作	36
設定	37
設定の基本操作	37
一般設定	38
オーディオ設定	39
映像出力設定	39
初期設定	41
パスワード設定	42
設定メニュー終了	42
トラブルシューティング	43
仕様	45
アフターサービス	46

はじめに

お使いになる前に必ずお読みください。

本取扱説明書の内容について

この取扱説明書は、本製品の基本的な操作の仕方を説明しています。DVDディスク、VCDディスクは、ディスク製作者側の意図により再生状態が決められていることがあります。本製品ではディスク製作者側が意図した内容に従って再生をおこなうため、操作した通りに動作しない事があります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

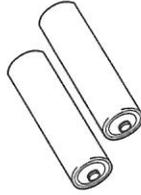
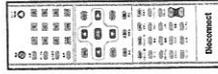
リージョン番号について

本製品のリージョン番号は2番です。DVDディスクの再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に「2」のように入力されているか、またはALLが表示されていないと、本製品では再生できません(その際は画面に表示がでます)。

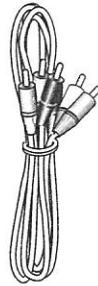
セット内容

本製品パッケージ内には下記のセット内容が含まれます。お確かめください。

- ① プレーヤー本体
- ② リモコン
- ③ リモコン用電池



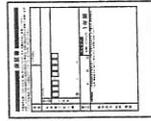
- ④ AVケーブル



- ⑤ 取扱説明書



- ⑥ 保証書



(注)イラストと実際の製品形状が若干異なる場合があります。

安全上の注意

お使いになる前に必ずお読みください

- ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

■表示の説明

表示	表示の意味
	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されることを示します。
	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されることを示します。

*1: 重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
 *2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさします。
 *3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の例

図記号	図記号の意味
	⊘は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	Ⓛは、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	⚠は、注意(警告を含む)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

異常や故障のとき

⚠ 警告

- 煙が出たり、変なにおいがしたりするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 - 内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 - 落としたり、本体を破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 - 電源コードが傷んだり、電源プラグが異常発熱したときは、すぐに電源を切り、電源プラグが冷えたのを確認してから、コンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 上記の問題等が発生した場合は、電源プラグを抜いた後、サポートセンターにご連絡ください。



<p>設置されるとき</p> <p>⚠ 警告</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 屋外や風呂、シャワー室など、水のかかる恐れのある場所には置かないこと。 火災・感電の原因となります。 ● 電源プラグは交流100Vのコンセントに接続すること。 交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。 ● ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと。 本製品が落ちて、けがの原因となります。 ● 上に物を置かないこと。 金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が入った場合、火災・感電の原因となります。 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。 	<p>設置されるとき</p> <p>⚠ 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 温度の高い場所に置かないこと。 直射日光の当たたる場所・締め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となります。 また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。 ● 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと。 加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。 ● 風通しの悪い場所に置かないこと。 内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。 ○ 壁に押しつけないでください。 ○ 押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。 ○ テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。 ○ じゅうたんやふとんの上に置かないでください。 ○ 仰向け、横倒し、逆さまにしないでください。 ● 移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続コードを外すこと。 電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。 また、接続コードなどを外さずに運ぶと、本製品が転倒し、故障やけがの原因となることがあります。
<p>ご使用になるとき</p> <p>⚠ 警告</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 修理・改造・分解をしないこと。 火災・感電の原因となります。点検・調整・修理は、サポートセンターにご連絡ください。 ● ディスクトレイから異物を入れないこと。 金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。 ● 雷が鳴りだしたら、本製品に触れないこと。 感電の原因となります。 ● 電源コードは ○ 傷ついたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと。 ○ 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと。 ○ 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと。 火災・感電の原因となります。 ● ディスクトレイ内のレンズをのぞき込まないこと。 目に障害をもたらす恐れがあります。 	<p>ご使用になるとき</p> <p>⚠ 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。 感電の原因となります。 ● 旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと。 万一故障したとき、火災の原因となることがあります。 ● ディスクトレイに、手を入れないこと。 指をはさみ、けがの原因となることがあります。 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。 ● ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと。 ディスクは本製品内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

<p>設置されるとき</p> <p>⚠ 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 温度の高い場所に置かないこと。 直射日光の当たたる場所・締め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となります。 また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。 ● 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと。 加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。 ● 風通しの悪い場所に置かないこと。 内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。 ○ 壁に押しつけないでください。 ○ 押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。 ○ テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。 ○ じゅうたんやふとんの上に置かないでください。 ○ 仰向け、横倒し、逆さまにしないでください。 ● 移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続コードを外すこと。 電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。 また、接続コードなどを外さずに運ぶと、本製品が転倒し、故障やけがの原因となることがあります。 	<p>ご使用になるとき</p> <p>⚠ 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。 感電の原因となります。 ● 旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと。 万一故障したとき、火災の原因となることがあります。 ● ディスクトレイに、手を入れないこと。 指をはさみ、けがの原因となることがあります。 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。 ● ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと。 ディスクは本製品内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。
<p>設置されるとき</p> <p>⚠ 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 温度の高い場所に置かないこと。 直射日光の当たたる場所・締め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となります。 また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。 ● 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと。 加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。 ● 風通しの悪い場所に置かないこと。 内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。 ○ 壁に押しつけないでください。 ○ 押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。 ○ テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。 ○ じゅうたんやふとんの上に置かないでください。 ○ 仰向け、横倒し、逆さまにしないでください。 ● 移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続コードを外すこと。 電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。 また、接続コードなどを外さずに運ぶと、本製品が転倒し、故障やけがの原因となることがあります。 	<p>ご使用になるとき</p> <p>⚠ 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。 感電の原因となります。 ● 旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと。 万一故障したとき、火災の原因となることがあります。 ● ディスクトレイに、手を入れないこと。 指をはさみ、けがの原因となることがあります。 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。 ● ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと。 ディスクは本製品内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

使用上のお願ひ

お使いになる前に必ずお読みください

結露(露付き)について

■結露はディスプレイや本製品を傷めます。以下の注意をよくお読みください。

- 本製品を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき。
 - 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき。
 - 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき。
 - 湯気が立ちこめると、湿気の多い部屋で使用したとき。
- ※結露がおきそうなときは、本製品をすぐにご使用にならないでください。

取り扱いに関すること

- 引っ越しなどで、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように手布などでくるんでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
- 長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりませんが、故障ではありません。
- 普段使用しないときは必ず、メディアを取り出し、主電源スイッチを切っておいてください。
- 長時間使用しない時は機能に支障をきたす場合がありますので、時々電源を入れて、使用してください。

置き場所に関すること

- 本製品は水平な場所に設置してください。ぐらつく台の上や傾いた所などの、不安定な場所では使用しないでください。メディアが外れるなどして、故障の原因となります。
- 本製品をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本製品で再生中、画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

お手入れに関すること

- ディスプレイやボタン等のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- よごれがひどいときは、布を水でうすめた中性洗剤にひたし、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。



禁止

ご使用になること

⚠ 注意

- 電源を入れる前には音量を最小にすること。また、接続しているテレビなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。接続したアンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。
- 音量を上げすぎないようにご注意ください。大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- ヘッドフォン・イヤフォンを使用する場合は、音量を上げすぎないようにご注意ください。大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- リモコンに使用している電池は
 - 酸性(+)と(-)を間違えて挿入しないこと。
 - 充電・加熱・分解・ショートさせたり、火の中に入れてはならないこと。
 - 電池に表示されている【使用推奨期限】を過ぎたり、使い切った電池はリモコンに入れたままにしておかないこと。
 これらを守らないと、液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。
- 電源コードやケーブルを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、過熱したりしないこと。火災・感電の原因になることがあります。
- 本製品の上に重量物を載せたり、本来の目的以外に使用しないこと。けがや故障の原因になります。
- 傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。けがや故障の原因になります。
- ケーブルは足などに引っかからないように、配線すること。また上に重量物を載せないこと。熱器具のそばに配線しないこと。足に引っかけると、けがや接続機器の故障の原因になります。また、ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因になります。



指示

- ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにほかのテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は次のようにしてください。
- ほかのテレビやラジオなどからできるだけ離す。
- ほかのテレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
- コンセントを別にす。

ディスクの取り扱いと用語

再生できるディスクについて

本製品では、下記のディスクを再生することができます。

メディア	マーク(ロゴ)	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオ ディスク		映像(動画)+音声	12cm 8cm
ビデオCD ディスク		映像(動画)+音声	12cm 8cm
音楽CD ディスク		音 声	12cm 8cm

■以下のディスクも再生できます。

- ・CD-DAまたはビデオCDフォーマットのCD-R/-RWディスク
- ・DVDビデオフォーマットのDVD-R/-RW、DVD+R/+RWディスク
- ・CPRM方式で記録されたDVD-R/-RWディスク
- ・JPEG CDディスク
- ・MP3 CDディスク

※上記以外のディスクは再生できません。

- 上記のディスクでも、規格外のディスクや、傷や汚れ、記録状態や記録機器、記録ソフトの特性等により、再生できないことがあります。
- 全ての記録終了時に、終了情報を記録するファイナライズ処理を正しくしていないディスクは再生できません。
- 本製品はNTSCテレビ方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式(SECAM/PAL)表示のディスクには使用できません。
- 本製品DVDリージョン番号は2番です。再生するDVDディスクにリージョン番号が表示されている場合は、そのリージョン番号マークの中に「2」または「ALL」が表示されていないと、本製品では再生できません。
- 円形以外の特殊な形状(カード型等)のディスク、紙やシールの貼られたディスクは再生できません。
- 複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽CDディスクの中には、正式なCD規格に合致しないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本製品で再生できない場合があります。

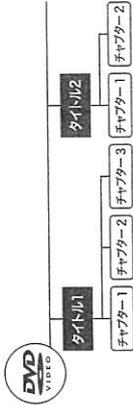
注 意

- ディスク記録データ/設定/サイズ/形式/記録状態等によっては、操作・再生など行えない場合があります。
- CPRM方式で記録されたディスクは再生できませんが、記録状態によっては再生できない場合があります。

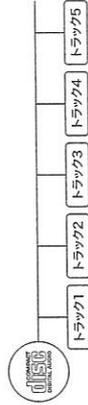
ディスクに関する用語について

■一般にDVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。VCD/音楽CDディスクなどは「トラック」で区切られています。

タイトル : DVDディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。
チャプター : タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。



トラック : VCD/音楽CDディスクなどの内容を区切ったものです。



それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」「チャプター番号」「トラック番号」といいます。

ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。

ディスクの取り扱い方

- ディスクについて指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。
- よごれがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- 再生面には手を触れないでください。



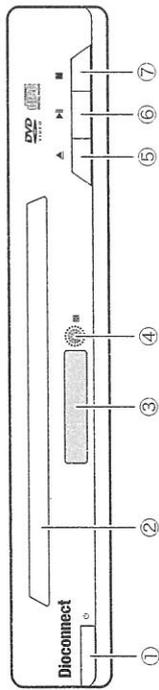
- ※ディスクに紙やシールを貼らないでください。
- ※シンナーやベンジン、アナログレコード専用のクリーナー、静電防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを痛める原因となります。
- ※鉛筆やボールペンなどで字を書かないでください。
- ※傷つき防止用のプロテクターなどは使わないでください。

ディスクの保管の仕方

- 直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
- 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ディスクは必ず専用のケースに入れて保管してください。専用ケースに入れないで重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

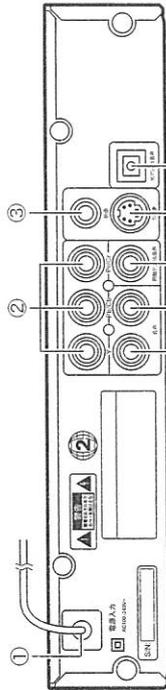
各部のなまえ

本体前面



- ① 電源ボタン
- ② ディスクトレイ
- ③ ディスプレイ
- ④ リモコン受光部
- ⑤ トレイ開/閉ボタン
- ⑥ 再生/一時停止ボタン
- ⑦ 停止ボタン

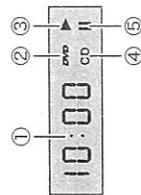
本体背面



- ① 電源コード
- ② コンポーネント映像出力端子 (Y、Pb/Cb、Pr/Cr)
- ③ コンポジット映像出力端子
- ④ アナログ音声出力端子
- ⑤ 同軸デジタル音声出力端子
- ⑥ S映像出力端子
- ⑦ 光デジタル音声出力端子※

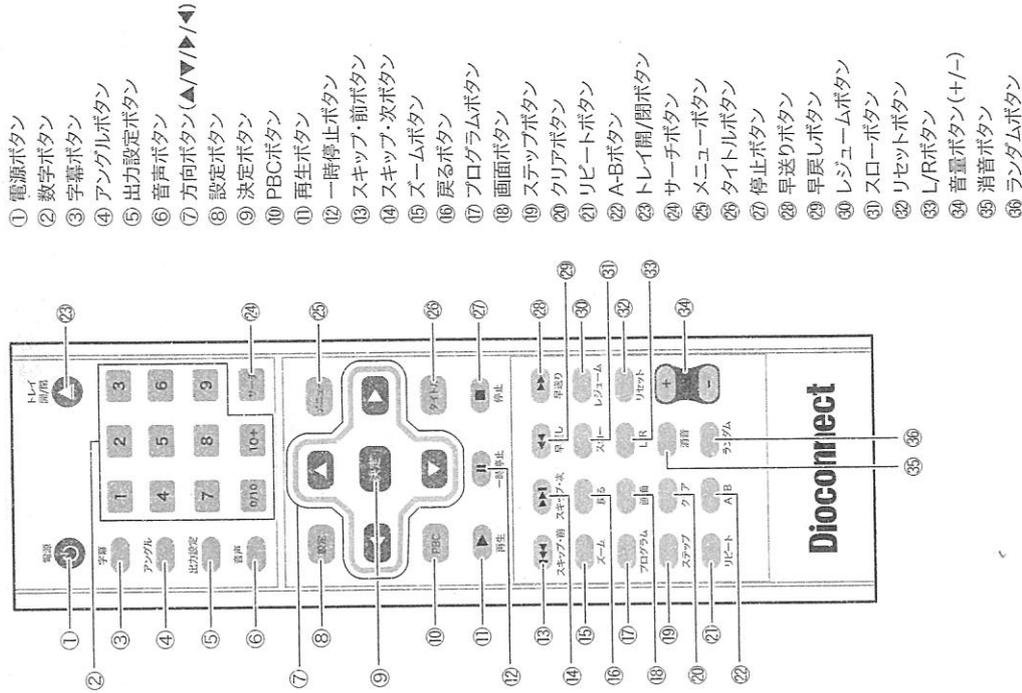
※光デジタル音声ケーブルを接続するときは、キャップをはずしてから、形状を合わせて奥までしっかり差し込んでください。端子を使わないときは、キャップが付かないようキャップを取り付けてください。

ディスプレイ



- ① 再生の経過時間/残り時間等が表示されます(画面)ボタンで切替可。
- ② DVDディスクをセットすると表示されます。
- ③ チャプター、トラック等の再生時に表示されます。
- ④ CDディスクをセットすると表示されます。
- ⑤ チャプター、トラックの一時停止時に表示されます。

リモコン



- ① 電源ボタン
- ② 数字ボタン
- ③ 字幕ボタン
- ④ アンクルボタン
- ⑤ 出力設定ボタン
- ⑥ 音声ボタン
- ⑦ 方向ボタン(▲/▼/▶/◀)
- ⑧ 設定ボタン
- ⑨ 決定ボタン
- ⑩ PBCボタン
- ⑪ 再生ボタン
- ⑫ 一時停止ボタン
- ⑬ スキップ・前ボタン
- ⑭ スキップ・次ボタン
- ⑮ スームボタン
- ⑯ 戻るボタン
- ⑰ プログラムボタン
- ⑱ 画面ボタン
- ⑲ ステップボタン
- ⑳ クリアボタン
- ㉑ リピートボタン
- ㉒ A-Bボタン
- ㉓ トレイ開/閉ボタン
- ㉔ サーチボタン
- ㉕ メニューボタン
- ㉖ タイトルボタン
- ㉗ 停止ボタン
- ㉘ 早送りボタン
- ㉙ 早戻しボタン
- ㉚ レジュームボタン
- ㉛ スローボタン
- ㉜ リセットボタン
- ㉝ L/Rボタン
- ㉞ 音量ボタン(+/-)
- ㉟ 消音ボタン
- ㊱ ランダムボタン

リモコンの準備

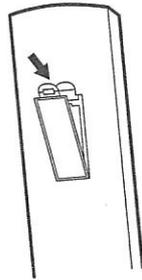
⚠ 注意

- リモコンに使用している電池は
 - 対応の電池以外は使用しないこと。
 - 極性表示を間違えて挿入しないこと。
 - 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れてはならないこと。
 - **【使用推奨期限】**を過ぎた電池や、使用済みの電池をリモコンに入れたままにしないこと。

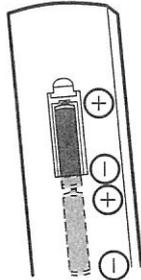
これらを守らないと、液もれ、破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

電池を入れる

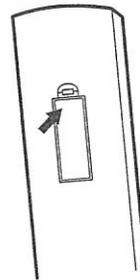
① リモコンの裏面にある電池ケースのふたを開きます。



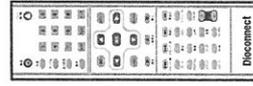
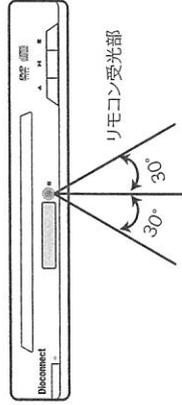
② 乾電池2本を電池ケース内の(+)(-)の表示の通りの向きにセットします。



③ 電池ケースのふたを閉じます。



リモコンの使用方式



リモコンをプレイヤー本体のリモコン受光部に向けて各ボタンを押します。

※ リモコン受光部に太陽光や蛍光灯など、強い光があたるとリモコンが動作しないことがあります。

注意

- 電池について
 - リモコンが動作しなかったり、到達距離が短くなったときは、新しい電池と交換してください。

- リモコンについて
 - 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
 - 高温・高湿になる場所に置かないでください。
 - 分解しないでください。

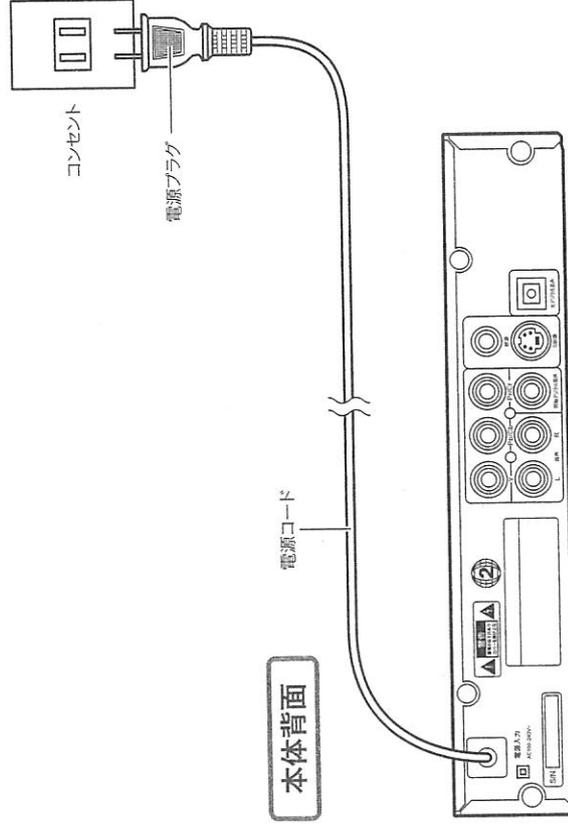
電源について

電源コードを接続する

本製品の電源をオンにするには、最初に電源コードの電源プラグをコンセントに接続します。

⚠ 警告

- 電源コードの電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続してください。交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。感電の原因となることがあります。



外部機器と接続する

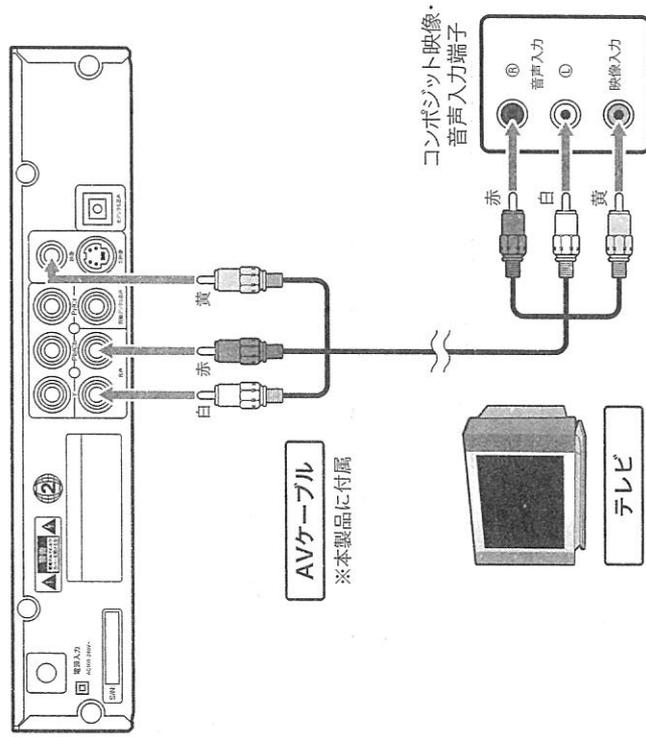
接続する前に

- 本製品および外部機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。
- 接続する機器の説明書もお読みください。
- 突然の大音量によりスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調整してください。
- 本製品の電源プラグをコンセントにつないだり、コンセントから抜いたりするときは、必ず接続機器の電源をオフにしておいてください。電源がオンのままだと、スピーカーを傷める恐れがあります。

コンポジット映像入力端子搭載のテレビと接続する

- ①本体とテレビの電源をオフにします。
- ②下図を参照して、本体とテレビを付属のAVケーブルで接続します。
- ③本体とテレビの電源をオンにします。
- ④テレビの入力切替を外部に設定します。

本体背面



注意

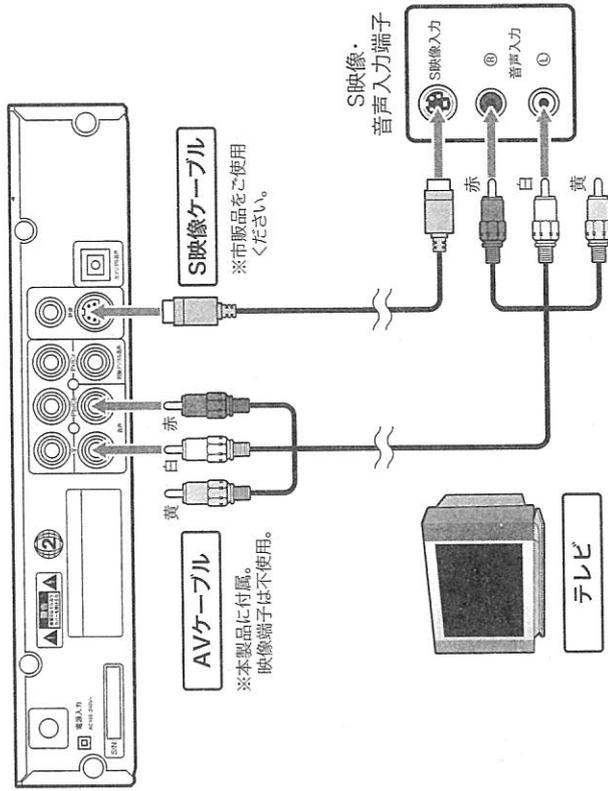
- 接続するときは必ず本製品および外部機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 本製品と外部機器は直接接続してください。例えば、ビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止の働き等により正常な画像にならないことがあります。

S映像入力端子搭載のテレビと接続する

テレビやモニターなどには、S映像入力端子が搭載されているものがあります。この端子に接続すると、より高画質な映像が楽しめます。接続する機器によって、再生する画像の色が薄くなったり、色相が変わったりすることがあります。このような場合は接続機器側(テレビ等)で調整をしてください。

- ①本体とテレビの電源をオフにします。
- ②下図を参照して、本体とテレビを市販のS映像ケーブルで接続します。
- ③付属のAVケーブルの音声端子のみを、本体とテレビに接続します。
- ④本体とテレビの電源をオンにします。
- ⑤テレビの入力切替を外部に設定します。

本体背面



※S映像端子で接続をする場合、あらかじめ本体の映像出力設定をおこなう必要があります。詳細はP.28、39を参照してください。

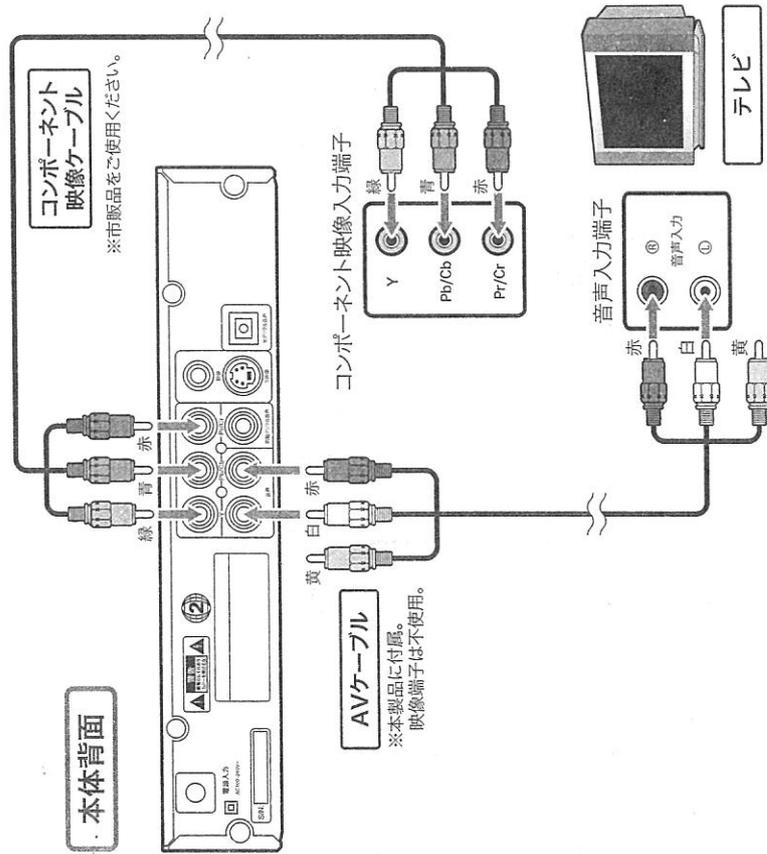
注意

- 接続するときは必ず本製品および外部機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 本製品と外部機器は直接接続してください。例えば、ビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止の働き等により正常な画像にならないことがあります。

コンポーネント映像入力端子搭載のテレビと接続する

テレビやモニター等には、コンポーネント映像入力端子(Y、Pb/Cb、Pr/Cr)が搭載されているものがあります。この端子に接続すると、より高画質な映像が楽しめます。接続する機器によって再生する画像の色が薄くなったり、色相が変わったりすることがあります。このような場合は接続機器側(テレビ等)で調整してください。

- ①本体とテレビの電源をオフにします。
- ②下図を参照して、本体とテレビを市販のコンポーネント映像ケーブルで接続します。
- ③付属のAVケーブルの音声端子のみを、本体とテレビに接続する。
- ④本体とテレビの電源をオンにします。
- ⑤テレビの入力切替を外部に設定します。



※コンポーネント映像端子で接続をする場合、あらかじめ本体の映像出力設定をおこなう必要があります。詳細はP.28、39を参照してください。

注意

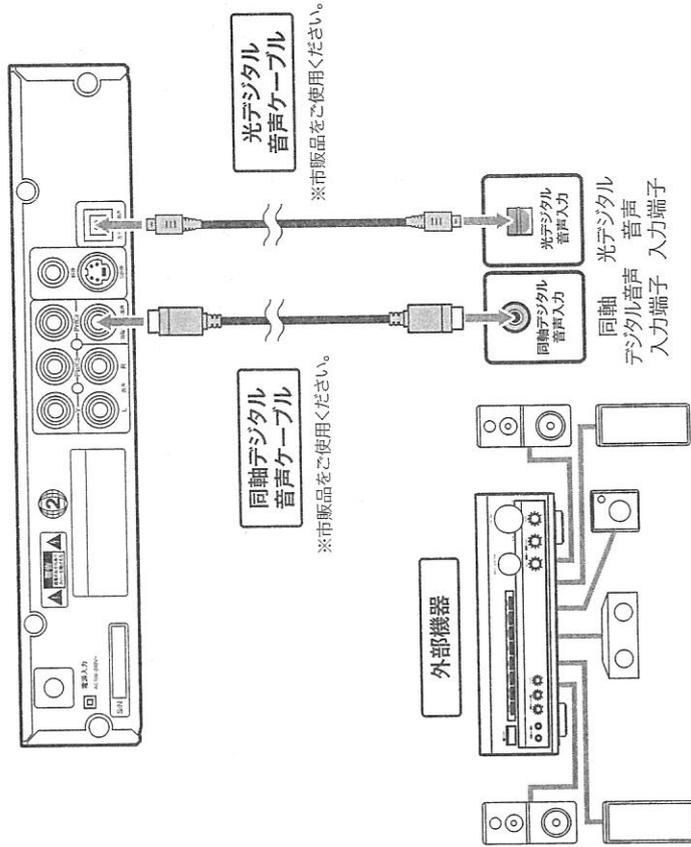
- 接続するときは必ず本製品および外部機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 本製品と外部機器は直接接続してください。例えば、ビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止の動き等により正常な画像にならないことがあります。

ドルビーデジタル内蔵アンプと接続する

ドルビーデジタル音声入力端子搭載のアンプ等の外部機器に本製品を接続すると、デジタルの高画質な音声を楽しめます。

- ①本体と外部機器の電源をオフにします。
- ②下図を参照して、本体と外部機器を市販の同軸デジタル音声ケーブル、または光デジタル音声ケーブルで接続します。
- ③本体と外部機器の電源をオンにします。
- ④外部機器の入力切替を外部に設定します。

本体背面



※デジタル音声端子で接続をする場合、あらかじめ本体のデジタル音声出力設定をおこなう必要があります。詳細はP.39を参照してください。

注意

- 接続するときは必ず本製品および外部機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ドルビーデジタル対応のDVDディスクをご使用ください。
- 同軸デジタル音声ケーブル/光デジタル音声ケーブルは、どちらか一方をお使いください。

基本操作

電源のオン/スタンバイ

本体/リモコンの〈電源〉ボタンを押して、電源をオンにします。すでにディスクが本体に入っている場合は、自動的にディスクの再生が始まります。

再度、本体/リモコンの〈電源〉ボタンを押すと、電源がスタンバイになります。

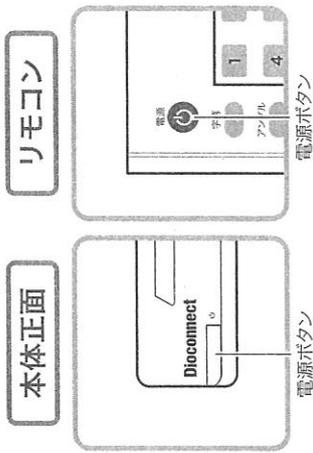
※電源をオフにする場合は電源プラグをコンセントから外して、主電源をオフにしてください。

※ディスクが停止状態で約30分間、何も操作をおこなわない場合は、自動的に電源がスタンバイになります。

ディスクをセットする/取り出す

ディスクをセットする前に

- ディスクの映像を楽しむ時は、テレビ側の電源を入れたあとに外部入力力を設定します。
- 音声をオーディオ機器で楽しむ時はオーディオ機器の電源を入れたあとに外部入力力を設定します。
- ①本体/リモコンの〈電源〉ボタンを押します。
- ②本体/リモコンの〈トレイ開/閉〉ボタンを押してディスクトレイを開き、ディスクをトレイに正しくセットします。
- ③本体/リモコンの〈トレイ開/閉〉ボタンを押して、ディスクトレイを閉じます。
- ④自動的にディスクの読み込みが開始し、ディスクの再生が始まります。
- ⑤再度、本体/リモコンの〈トレイ開/閉〉ボタンを押すとディスクトレイが開き、ディスクを取り出せます。



再生を開始する

- ①一時停止/停止中に、本体/リモコンの〈再生〉ボタンを押すと、再生が開始されます。

再生を一時停止する

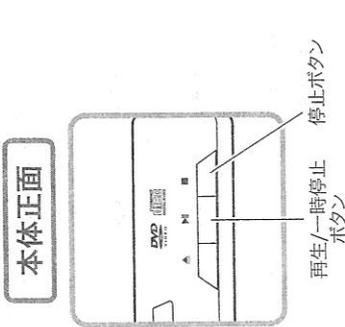
- ①再生中に本体/リモコンの〈一時停止〉ボタンを押すと、再生が一時停止します。
- ②本体/リモコンの〈再生〉ボタンを押すと、再生が再開されます。

再生を停止する

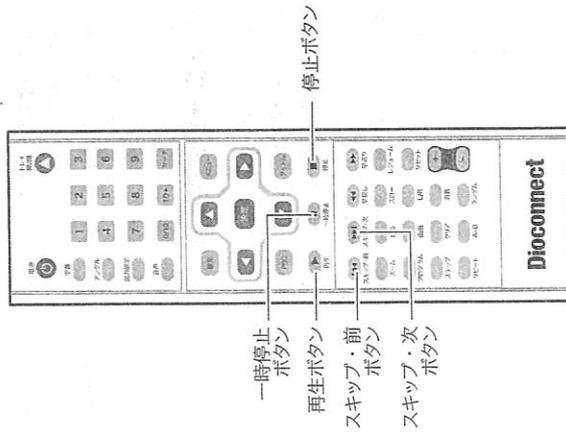
- ①再生/一時停止中に、本体/リモコンの〈停止〉ボタンを押すと、再生が一旦停止します。
- ※本体/リモコンの〈再生〉ボタンを押すと、一旦停止した箇所から再生が再開されます。
- ②再生を完全に停止するには、〈停止〉ボタンを2回連続して押します。
- ※CDディスクでは1回ボタンを押すと停止します。

前・次へ移動する

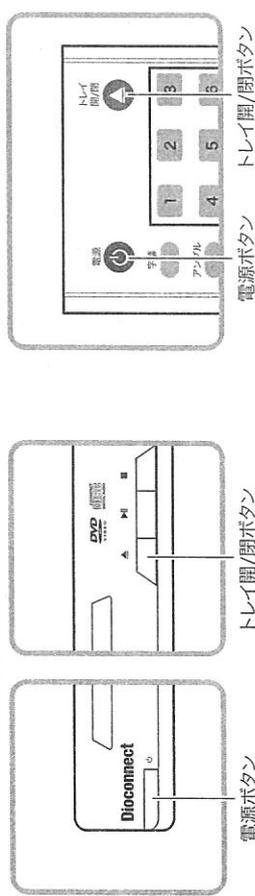
- ①リモコンの〈スキップ・前/次〉ボタンを押して、前/次のチャプター /トラック/アイルにスキップします。



リモコン



本体正面



注意

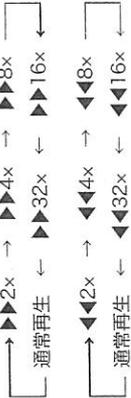
- ディスクトレイに手や指を入れないこと。指をはさみ、けがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないようにしてください。
- 再生するディスクによってディスクの大きさが異なりますので、それぞれの溝にそってディスクを正確に置いてください。
- 本製品では再生できないディスクやディスク以外のものをディスクトレイに置かないでください。

注意

- 再生中に本製品を動かさないでください。本体またはディスクの破損の原因となります。
- メニュー画面等の静止画面が長時間続く、テレビ画面に焼き付きが生じる可能性があります。必ず停止ボタンを押して再生を停止するか、電源をオフにしてください。

早送り/早戻し再生をする

①リモコンの〈早戻し/早送り〉ボタンを押して、早送り/早戻し再生をします。
ボタンを押す毎に再生する速度が変更されます。



②即座に通常再生に戻すには本体/リモコンの〈再生〉ボタンを押します。

コマ送り再生をする

①再生/一時停止中に、リモコンの〈ストップ〉ボタンを押します。

②〈ストップ〉ボタンを押す毎に、画像がコマ送り再生されます。

③通常再生に戻すには、本体/リモコンの〈再生〉ボタンを押します。

スロー再生をする

①再生中にリモコンの〈スロー〉ボタンを押します。
②ボタンを押す毎に、再生する速度が変更されます。
※スロー再生には順再生と逆再生があります。



▶▶：順スロー再生
◀◀：逆スロー再生

③即座に通常再生に戻すには本体/リモコンの〈再生〉ボタンを押します。

注意

- DVDディスクでの早送り/早戻し再生中は、音声と字幕は再生されません。
- 早送り/早戻し再生、スロー再生の速さは再生するディスクによって異なります。
- コマ送り/スロー再生中は、音声は再生されません。

リピート再生をする

タイトルやチャプター、トラックの再生したい箇所だけを、繰り返し再生することができます。

①リモコンの〈リピート〉ボタンを押して、リピート再生の設定をします。

②ボタンを押す毎に、以下のように設定が切り換わります。

DVD	VCD/CD	リピート内容
『チャプター』 ↓	『トラック』	再生中のチャプター/トラックをリピート再生します。
『タイトル』 ↓	↓	同じタイトルをリピート再生します。
『オール』 ↓	『オール』	ディスク全体をリピート再生します。
『無表示』	『無表示』	普通の再生に戻ります。

A-Bリピート再生をする

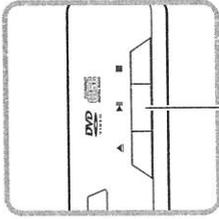
再生中に〈A-B〉ボタンをおして、リピート再生したい地点を指定し、その間(A-B間)のみをリピート再生します。

①最初にリピートしたい始点(A)でリモコンの〈A-B〉ボタンを押して、画面に『A』を表示させます。

②次にリピートの終点(B)で〈A-B〉ボタンを押して、画面に『A』と『B』を表示させます。

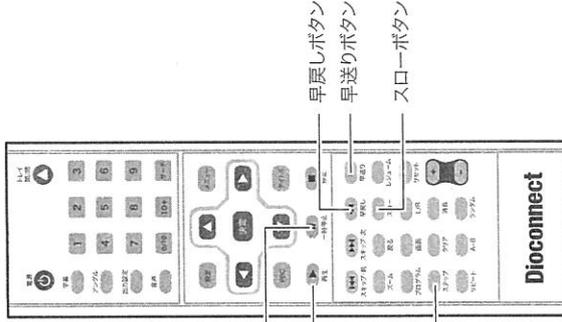
③通常再生に戻すには、リモコンの〈A-B〉ボタンを押して、アイコンを無表示にします。

本体正面



再生ボタン

リモコン



一時停止ボタン

再生ボタン

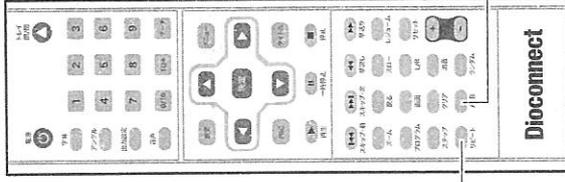
ストップボタン

早戻しボタン

早送りボタン

スローボタン

リモコン



リピートボタン

A-Bボタン

注意

- ディスクによっては、リピート再生できない場合があります。
- ディスクによっては、A-Bリピート再生できない場合があります。
- 同じタイトルの中だけで、A-Bの設定ができます。
- マルチアングルで記録されている部分では、A-Bリピート再生はできません。
- ディスクによって始点(A)の位置が変わることがあります。

言語を切り換える

音声言語を切り換える

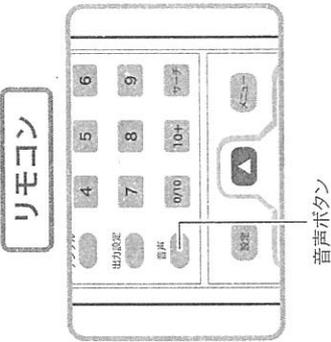
複数の音声言語が記録されているディスクでは、言語や音声方式を切り換えることができます。

- ①再生中にリモコンの(音声)ボタンを押します。
- ②音声言語の設定が表示されます。
- ③ボタンを押す毎に、下記の例のように言語表示が切り換わり、音声言語の設定ができます。

※ディスクによって表示される内容は異なります。

(例) 『音声 1/1 2CH 日本語』

(例) 『音声 1/2 5.1CH 英語』



字幕言語を切り換える

ディスクに字幕が記録されている場合、再生画面に字幕を表示できます。

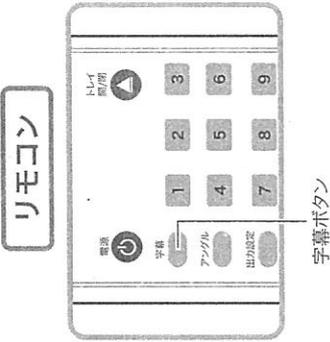
複数の字幕用言語が記録されているディスクでは、好きな言語に切り換えることができます。

- ①再生中にリモコンの(字幕)ボタンを押します。
- ②字幕言語の設定が表示されます。
- ③ボタンを押す毎に、下記の例のように言語表示が切り換わり、字幕言語の設定ができます。

※ディスクによって表示される内容は異なります。

(例) 『01/02 : 日本語』

(例) 『02/02 : 英語』



映像・音声出力を切り換える

映像出力を切り換える

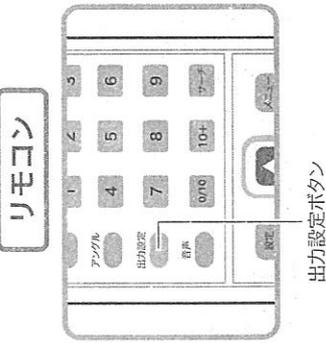
本製品から外部機器にS映像出力、またはコンポジット映像出力をする場合、映像出力の動作モードを設定する必要があります。

- ①再生中にリモコンの(出力設定)ボタンを押します。
- ②設定する映像出力が表示されます。
- ③ボタンを押す毎に、下記のように表示が切り換わり、映像出力設定ができます。

『S-映像』⇔『YUV(コンポーネント)』

※S映像またはコンポーネント映像ケーブルで外部機器に接続してください(P.18、19参照)。

※付属のAVケーブルでコンポジット映像出力をする場合は、上記どちらの設定でも構いません。



音声出力チャンネルを切り換える

本製品から外部機器に音声出力する場合、音声出力の動作モードを設定することができます。

- ①再生中にリモコンの(L/R)ボタンを押します。
- ②設定する音声出力チャンネルが表示されます。
- ③ボタンを押す毎に、下記のように音声出力チャンネル表示が切り換わり、設定ができます。

『モノラル左』

左チャンネルの音声を左右から出力します。

『モノラル右』

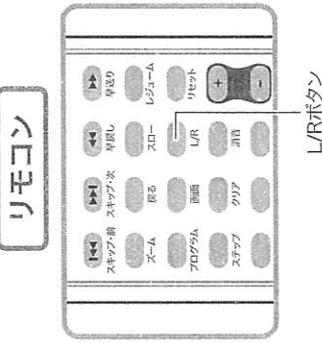
右チャンネルの音声を左右から出力します。

『ミックスモノラル』

左右チャンネルの音声をミックスして左右から出力します。

『ステレオ』

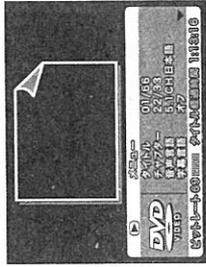
ステレオ音声を出力します。



サーチ機能をつから

DVDディスクに記録されているタイトル/チャプター/時間等を入力して、お好きな箇所から再生を開始することができます。本操作はリモコンでおこないます。

【再生サーチ画面】



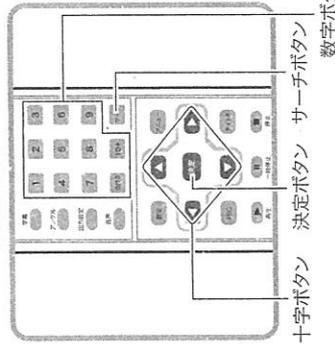
DVD再生中にサーチ機能をつから

- ①再生中に<サーチ>ボタンを押して、右図の【再生サーチ画面】を表示します。
 - ②<十字▲▼>ボタンを押してメニュー項目、『タイトル』、『チャプター』、『タイトル時間』、『チャプター時間』を選択します。
 - ③<決定>ボタンを押して、入力画面を表示します。
- ※選択を解除する場合は<左>ボタンを押します。
- ④<数字>ボタンを押してそれぞれの項目に、頭出し先の【番号/時間】を入力します。
 - ⑤入力を終了すると、自動的に指定した頭出し再生が開始します。
 - ⑥通常画面に戻すには<サーチ>ボタンを押します。
- VCDディスクも上記と同様に操作します。

【停止サーチ画面】

TT: 01/10 CH: 00/00

リモコン



DVD停止中にサーチ機能をつから

- ①停止中に<サーチ>ボタンを押して、右図の【停止サーチ画面】を表示します。
 - ②<数字>ボタンを押してメニュー項目、『タイトル』、『チャプター』項目に【番号】を入力します。
 - ③入力を終了すると、自動的に指定した頭出し再生が開始します。
- VCDディスクはディスク時間を入力します。

その他の設定をする

DVDディスク再生中に<サーチ>ボタンを押すと頭出し再生以外に、以下の設定が可能です。

- 音声言語：DVDディスクに記録された音声言語を設定できます。
- 字幕言語：DVDディスクに記録された字幕言語を設定できます。
- アングラー：DVDディスクに記録されたアングラーを設定できます。
- リビート：DVDディスク再生におけるリビート機能を設定できます。
- 時間表示：DVDディスク再生における時間表示の種類を設定できます。

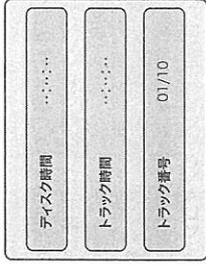
- ①<十字▲▼>ボタンを押してメニュー項目を選択します。
- ②<決定>ボタンを押して設定を確認します(項目によっては、サブメニューより設定を選択します)。

注意

- タイトル番号の記録されていないディスクでは、タイトル番号を使った頭出しはできません。
- ディスクによってはサーチができない場合があります。

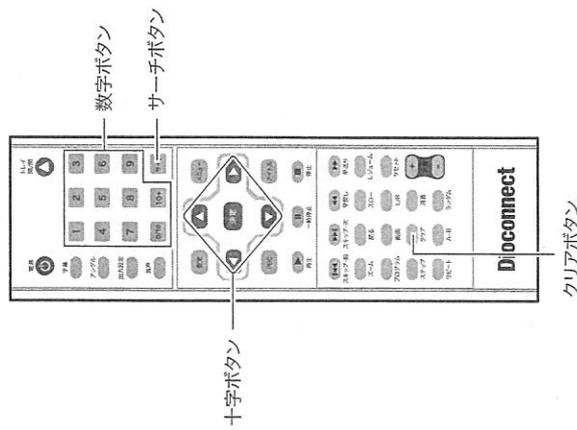
CDディスクに記録されているディスク時間/トラック時間/トラック番号等を入力して、お好きな箇所から再生を開始することができます。本操作はリモコンでおこないます。

CDでサーチ機能をつから



- ①再生中/停止中に<サーチ>ボタンを押して、右図の【再生/停止サーチ画面】を表示します。
- <サーチ>ボタンを押す毎に表示切替されます。
- ディスク時間：総ディスク時間より、ディスク時間を指定ができます。
- トラック時間：再生中のトラックの時間指定ができます。
- トラック番号：総トラック数より、トラック番号を指定できます。
- ②<数字>ボタンを押してそれぞれの項目に、頭出し先の【番号/時間】を入力します。
 - ③入力を終了すると、自動的に指定した頭出し再生が開始します。
- ※選択を解除する場合は<左>ボタンを押します。
- ④入力した数字を消去・訂正する場合は、<クリア>ボタンを押して、入力内容を消去します。

リモコン



注意

- ディスクによってはサーチができない場合があります。

その他の機能

アングル(角度)を切り換える

『マルチアングル』に対応しているDVDディスクを再生する場合、アングルの切り換えが可能です。
(最大9アングル)

- 再生中にリモコンの〈アングル〉ボタンを押します。
- マルチアングルで記録されている部分を再生すると、画面に自動的にアングルアイコンが表示されます。
- アングルアイコン表示中に〈アングル〉ボタンを押す毎に、アングルを切り換えることができます。
※『マルチアングル』対応のDVDディスクでも、ディスクによっては本機能を使用できない場合があります。

レジューム機能をつかう

DVDやVCDのディスクの再生中に一旦停止した箇所から、再び再生することができます。

- 再生中にリモコンの〈停止〉ボタンを押すと一旦停止し、オープニング画面が表示されます。
- リモコンの〈レジューム〉ボタンまたは〈再生〉ボタンを押すと、一旦停止した箇所から再び再生が開始されます。

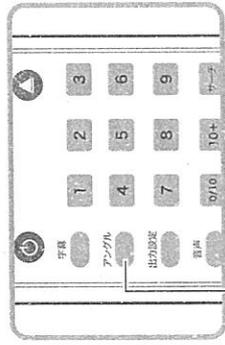
※再生が完全に停止した状態からは、本機能を使用できません。

プレイバックコントロール機能をつかう

表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選択することができます。

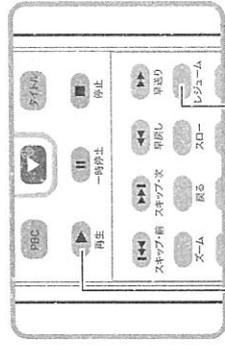
- VCDディスクを再生中にリモコンの〈PBC〉ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。
- リモコンの〈数字〉ボタンを押すと、番号指定したトラックの再生が開始されます。
※番号を指定しない場合は、再度〈PBC〉ボタンを押すと、通常再生に戻ります。

リモコン



アングルボタン

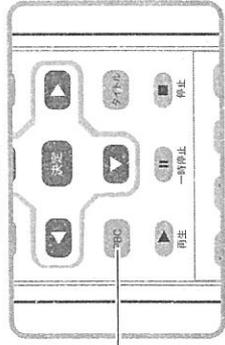
リモコン



再生ボタン

レジュームボタン

リモコン



PBCボタン

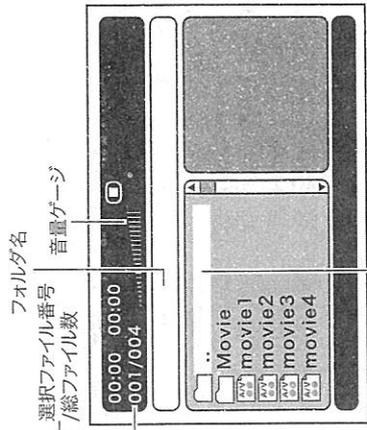
動画ファイルを再生する

本製品で動画ファイルを再生することができます。
再生可能な動画ファイルを記録したディスクをご用意ください(P.45の『仕様』を参照)。

動画ファイル再生の操作方法

フォルダ/ファイルの操作は、すべてリモコンでおこないます。

- ① 本体の電源をオンにしてディスクをセットします。
- ② ディスクの読み込みが完了すると、右記の【フォルダ/ファイル一覧画面】が表示されます。
- ③ フォルダがある場合は、再生したいファイルが保存されたフォルダを〈十字〉ボタンで選択します。
- ④ 〈決定〉または〈再生〉ボタンを押すと、フォルダの内容が表示されます。
- ⑤ 再生したい動画ファイルを、〈十字〉ボタンを押して選択します。
- ⑥ 〈決定〉または〈再生〉ボタンを押すと、ファイルの再生が開始されます。



上位フォルダへ移動(決定ボタン)

各種アイコン フォルダ 動画

再生機能の基本操作

■再生

- ① 再生したい動画ファイルを選択して〈決定〉/〈再生〉ボタンを押すと、ファイルの再生が開始されます。

■一時停止

- ① ファイル再生中に〈一時停止〉ボタンを押します。
- ② 一時停止中に〈一時停止〉/〈再生〉ボタンを押すと、ファイルの再生が再開されます。

■停止

- ① ファイル再生/一時停止中に〈停止〉ボタンを押します。
- ② 【フォルダ/ファイル一覧画面】が表示されます。

本ページ記載の他に色々な機能があります。
本書P.22~30をご参照ください。
機能によっては使用できない場合があります。

注意

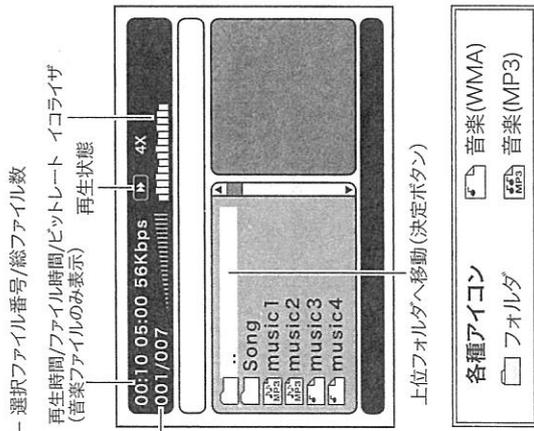
- フォルダ/ファイル名の表示できないコードは、文字化けを起こす場合があります。
- ファイルの設定やサイズ等によっては、正しく再生できない場合があります。
- ①アイコンが表示された場合は、その機能を実行することができません。

音楽ファイルを再生する

本製品で音楽ファイル(MP3/WMA)を再生することができます。音楽ファイルを記録したディスクをご用意ください。

音楽ファイル再生の操作方法

- フォルダ/ファイルの操作は、すべてリモコンでおこないます。
- ① 本体の電源をオンにしてディスクをセットします。
 - ② ディスクの読み込みが完了すると、右記の【フォルダ/ファイル一覧画面】が表示されます。
 - ③ フォルダがある場合は、再生したいファイルが保存されたフォルダを<十字>ボタンで選択します。
 - ④ <決定>または<再生>ボタンを押すと、フォルダの内容が表示されます。
 - ⑤ 再生したい音楽ファイルを、<十字>ボタンを押して選択します。
 - ⑥ <決定>または<再生>ボタンを押すと、ファイルの再生が開始されます。



再生機能の基本操作

- ### ■再生
- ① 再生したい音楽ファイルを選択して<決定>/<再生>ボタンを押すと、ファイルの再生が開始されます。
- ### ■一時停止
- ① ファイル再生中に<一時停止>ボタンを押します。
 - ② 一時停止中に<一時停止>/<再生>ボタンを押すと、ファイルの再生が再開されます。
- ### ■停止
- ① ファイル再生/一時停止中に<停止>ボタンを押します。
 - ② 【フォルダ/ファイル一覧画面】が表示されます。

本ページ記載の他に色々な機能があります。本書P.22~30をご参照ください。機能によっては使用できない場合があります。

注意

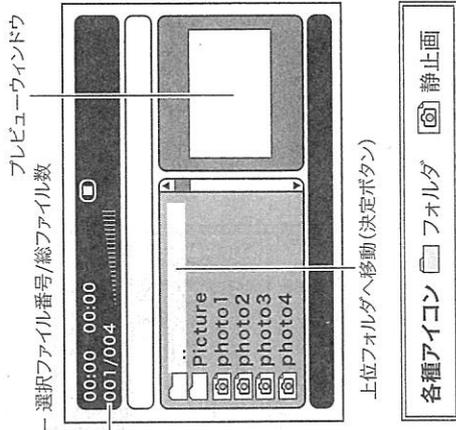
- フォルダ/ファイル名の表示できないコードは、文字化けを起こす場合があります。
- ファイルの設定やサイズ等によっては、正しく再生できない場合があります。
- 「O」アイコンが表示された場合は、その機能を実行することができません。

静止画ファイルを再生する

本製品で静止画ファイル(JPEG)を再生することができます。静止画ファイルを記録したディスクをご用意ください。

静止画ファイル再生の操作方法

- フォルダ/ファイルの操作は、すべてリモコンでおこないます。
- ① 本体の電源をオンにしてディスクをセットします。
 - ② ディスクの読み込みが完了すると、右記の【フォルダ/ファイル一覧画面】が表示されます。
 - ③ フォルダがある場合は、再生したいファイルが保存されたフォルダを<十字>ボタンで選択します。
 - ④ <決定>または<再生>ボタンを押すと、フォルダの内容が表示されます。
 - ⑤ 再生したい静止画ファイルを、<十字>ボタンを押して選択します。
 - ⑥ <決定>または<再生>ボタンを押すと、ファイルのスライドショー再生が開始されます。



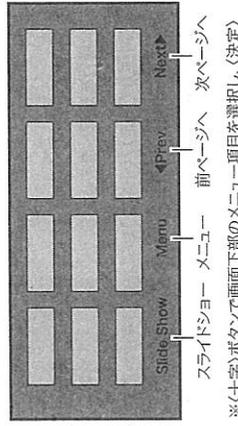
再生機能の基本操作

- ### ■スライドショー再生
- ① 再生したい静止画ファイルを選択して<決定>/<再生>ボタンを押すと、スライドショー再生が開始されます。
- ### ■一時停止
- ① 再生中に<一時停止>ボタンを押します。
 - ② 一時停止中に<一時停止>/<再生>ボタンを押すと、ファイルの再生が再開されます。
- ### ■停止
- ① ファイル再生/一時停止中に<停止>ボタンを押します。
 - ② 【フォルダ/ファイル一覧画面】が表示されます。
- ### ■サムネイル表示
- ① スライドショー再生中に<停止>ボタンを押します。
 - ② 右記【サムネイル画面】が表示されます。
 - ③ 解除するには【メニュー】ボタンを押します。
 - ④ <十字>ボタンを押して再生したいファイルを選択して<決定>/<再生>ボタンを押すと、選択ファイルからスライドショー再生が開始されます。

注意

- フォルダ/ファイル名の表示できないコードは、文字化けを起こす場合があります。
- ファイルの設定やサイズ等によっては、正しく再生できない場合があります。
- 「O」アイコンが表示された場合は、その機能を実行することができません。

【サムネイル画面】



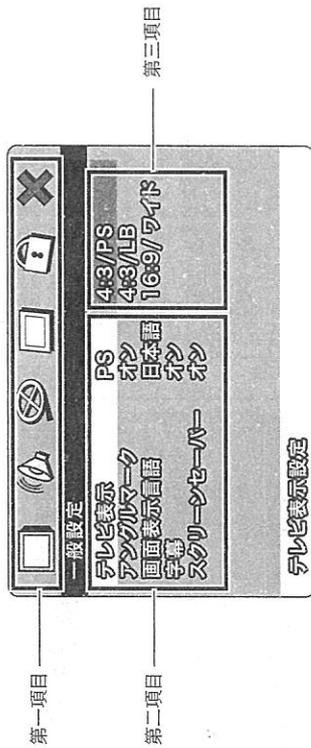
■メニュー

- ① <十字>ボタンを押して、画面下部にある項目より【メニュー】を選択します。
 - ② <決定>/<再生>ボタンを押します。
- 静止画再生の為にリモコンの操作方法の詳細が記載されています。参照してください。

設定

本製品の環境設定がおこなえます。本操作はリモコンでおこないます。

【設定画面】



設定の基本操作

- ① ディスクの再生が停止した状態で、**〔設定〕**ボタンを押して、**〔設定画面〕**を表示します。
- ② **〔十字◀▶〕**ボタンを押して第一項目より、設定したい項目を選択します。
- ③ **〔十字▶〕**ボタンを押して第二項目へ移動します。
- ④ **〔十字▲▼〕**ボタンを押して第二項目より、設定したい項目を選択します。
- ⑤ **〔再生/決定〕/〔十字▶〕**いずれかのボタンを押して、第三項目へ移動します。
- ⑥ **〔十字▲▼〕/〔十字▶〕**ボタンを押して第三項目より、設定したい項目を選択します。
- ⑦ **〔再生/決定〕**ボタンを押して設定を確認します。
- ⑧ **〔設定画面〕**を閉じる場合は**〔設定〕**ボタンを押すか、第一項目の一番右にある**〔戻る〕**設定メニュー終了項目を選択して、**〔再生〕/〔決定〕**ボタンを押します。

※一つ前の項目に戻る場合は、**〔十字▶〕**ボタンを押します。

注意

- 設定は再生を止めてからおこなってください。

一般設定

テレビ表示

接続するテレビの形状にあわせて、優先したい画面形状を設定することができます。

4：3/PS(バンスキャン)

4：3の画面で16：9のワイド映像を見るために、左右を切り取って表示する方法です。画面のサイズはワイド画面の場合と同等に表示できます。

4：3/LB(レターボックス)

4：3の画面で16：9のワイド映像を見るために、上下に黒い帯を表示させる方法です。表示が小さくなりますが、ワイド画面のすべてをみることができます。

16：9ワイド

16：9ワイドテレビを、本製品に接続している場合に設定してください。

アンクルマーク

色々なアンクルで撮影された画像を記録しているディスクを再生中、アンクルを切り換えた際のアイコンの表示のオン/オフを設定することができます。

オン

現在の切り換えたアンクルのアイコンが常に表示されます。

オフ

アンクルを切り換えた後、一定時間が経過するとアイコンが消え非表示になります。

画面表示言語

設定画面の言語を日本語と英語のどちらからより選択することができます。

字幕

クローストキャプションに対応した特殊なDVDディスクについて、クローストキャプションの表示切替を設定することができます。

オン

字幕が常に表示されます。

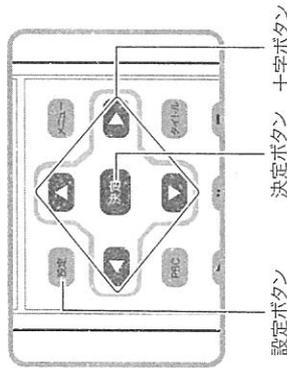
オフ

字幕が非表示になります。

注意

- DVDディスクには再生できる画面形状があらかじめ設定されています。ディスクによっては、設定の通りに再生されないことがあります。

リモコン



■ スクリーンセーバー

再生画像の一時停止状態が続くと、液晶画面の焼付きがおこることがあります。これを防止するための機能です。

オン

スクリーンセーバーが動作します。

オフ

スクリーンセーバーが動作しません。

■ オーディオ設定

■ スピーカー設定

3つ以上の音声チャンネルを持つビットストリームを、従来のステレオを互換性を保つため、2チャンネルヘダダウンミックスする機能や、DRC(ダイナミック・レンジ・コントロール)の設定を行うことができます。お使いのスピーカーに合わせて設定を行ってください。

■ デジタル音声出力設定

本製品をデジタルデコーダーと接続した際の設定をすることができます。デジタルデコーダの説明書を参照して、各項目を最適な設定に合わせてください。

■ HDCD

高解像度の音質と幅の広いダイナミックレンジを楽しむことが出来るHDCDを再生する際の設定をすることができます。フィルタを最適な設定に合わせてください。

■ 映像出力設定

■ 映像出力

S-映像

S映像出力の設定をおこないません。

YUV

コンポーネント映像出力の設定をおこないません。

※付属のAVケーブルでコンポジット映像出力をする場合は、上記どちらの設定でも構いません。

■ スキャン方式

前項目の「映像出力」設定でYUV出力を設定した時のみ、本設定を行うことができます。設定する内容については、本製品を接続するテレビの説明書をお読みください。

P-スキャン

プログレッシブスキャンの設定をおこないません。

インターレース

インターレースの設定をおこないません。

■ 画質

画面設定を行うことができます。

シャープネス

プレーヤーの映像のシャープさを「高」「中」「低」の3段階で設定することができます。

明度

プレーヤーの映像の明るさを「-20～+20」の段階で設定することができます。

コントラスト

プレーヤーの映像のコントラストを「-16～+16」の段階で設定することができます。

ガンマ補正

プレーヤーの映像のガンマ補正を「高」「中」「低」の3段階と「無し」で設定することができます。

色調

プレーヤーの映像の色調を「-9～+9」の段階で設定することができます。

彩度

プレーヤーの映像の彩度を「-9～+9」の段階で設定することができます。

ルーマ遅延

プレーヤーの映像のルーマ(Luma)の遅延を設定することができます。「0T」か「1T」で設定することができます。

初期設定

■ テレビシステム

国によって、ビデオ出力方式が異なります。
本製品を外部のテレビに接続する際の、ビデオ出力方式の設定をおこなうことができます。
本製品はNTSC(米国、日本、その他の国で使用)と、PAL(ヨーロッパなどの国で使用)の両方のビデオ出力方式に対応しています。

PAL

ヨーロッパやその他の国で使用する場合に設定します。

マルチ

すべての国で使用できます。

NTSC

米国、日本、その他の国で使用する場合に設定します。
● 日本で使用する場合は、『マルチ』または『NTSC』に設定してください。

■ PBC設定(プレイバックコントロール)

この機能をオンにすると、VCDディスクで表示されるメニュー画面より、見たい画面や情報を選ぶことができます。この機能はPBC機能に対応したVCDディスクの場合のみ動作可能です。

■ 音声言語

ディスク再生時の音声言語を選択することができます。

■ 字幕言語

ディスク再生時の字幕言語を選択することができます。

■ ディスクメニュー言語

ディスクのメニュー言語を選択することができます。

注意

- テレビシステムの設定を間違えると、画像や音声が乱れることがあります。
- ディスクによっては自動的に設定の言語にならない場合があります。
- 「初期設定」は、ディスクを完全に停止していないと項目が表示されず、設定することができません。

■ 視聴制限

視聴制限のある映像ソフトなどの場合、映像および音声の再生を暗証番号を設定することにより制限することができます。

視聴制限の設定方法

- ① 〈十字〉ボタンを押して、お好み視聴制限レベルを選択します。
 - ② 〈数字〉ボタンを押してパスワードを入力し、「OK」の項目で〈決定〉ボタンを押します。
- ※パスワードの設定については、下記「パスワード設定」を参照してください。

■ リセット

各種設定を工場出荷時の状態に戻します。
※各種設定をリセットをしても、パスワードはリセットされません。

パスワード設定

■ パスワードモード設定

この設定をオンにすると、上記の「視聴制限」の設定をおこなう場合にパスワードの入力が必要になります。オフに設定にすると、「視聴制限」の設定をおこなう際に、パスワードの入力が不要になります。
オン/オフのどちらの設定をおこなう場合も、最初の設定時にパスワードの入力が必要になります。

パスワードの入力方法

- ① 〈数字〉ボタンを押してパスワードを入力します。
- ② 「OK」の項目で〈決定〉ボタンを押します。

■ パスワード

- ① 「旧パスワード」の項目で、以前設定したパスワードを入力します。
 - ② 「新パスワード」の項目で、新しく設定したいパスワードを入力します。
 - ③ 「確認入力」の項目で、「新パスワード」で入力したパスワードをもう一度確認のために入力します。
 - ④ 「OK」で決定ボタンを押して、決定します。
- 工場出荷時の暗証番号は、『0000』に設定されています。

設定メニュー終了

アイコンを選択して〈決定〉ボタンを押すと、設定画面を終了します。

トラブルシューティング

故障かな...?とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、以下の点をお調べください。

症状	処置・確認
接続したテレビに画像が映らない、または乱れる	<ul style="list-style-type: none"> ○電源プラグがコンセントから抜けていませんか。電源プラグの差し込みを確認してください。 ○テレビの入力切り換えは正しいですか。テレビの入力切り換えを、本製品からの画像が映るように切り換えてください。 ○AVケーブルはしっかりと接続されていますか。ケーブルをしっかりと差し込んでください。 ○テレビシステムの設定が間違っている可能性があります。設定を確認してください(P.41参照)。
映像の跡が残る	<ul style="list-style-type: none"> ○長時間同じ画面を表示していると、画面を変えた時に残像が発生する場合があります。表示する映像を変えたり、一度電源をオフにすると、正常に戻ります。
電源が入らない (画像も音声も出ない)	<ul style="list-style-type: none"> ○電源プラグがコンセントから抜けていませんか。電源プラグの差し込みを確認してください。 ○リモコンの電池残量がなくなった可能性があります。新しい電池と交換してから、もう一度電源ボタンを押してください。
音声が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ○外部機器と本体のケーブルはしっかりと接続されていますか。ケーブルをしっかりと差し込みます。 ○ケーブルで接続している機器の電源が入っていますか。確認してください。 ○接続した機器または、本製品の音量が0になっていませんか。音量ボタンで音量を上げてください。 ○音声出力設定が正しく設定されていますか。設定を確認してください。
色がない	<ul style="list-style-type: none"> ○「色調」などの設定がずれていませんか。正しく設定してください。
画像や音声が乱れることがある	<ul style="list-style-type: none"> ○ディスクが汚れている可能性があります。ディスクをきれいにしてください。
画像が明るくなったり暗くなったり、ノイズが出たりする	<ul style="list-style-type: none"> ○ディスクのコピー防止機能が働いている可能性があります。ディスクの状態を確認してください。
再生が始まらない	<ul style="list-style-type: none"> ○ディスクが入っているか確認してください。 ○本製品では再生できない種類のディスクの可能性があります。ディスクの種類を確認してください。 ○ディスクを裏返しに入れていますか。確認してください。 ○ディスクが汚れている可能性があります。ディスクをきれいにしてください。

症状	処置・確認
ディスクが決められた通りの再生ができない	<ul style="list-style-type: none"> ○リピート再生などをしていませんか。確認してください。
操作ボタンを押しても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ○静電気やノイズなどの影響により本製品が動作しなくなっている可能性があります。電源スイッチを切り換えて電源を入れ直すか、電源プラグを抜き、もう一度差し込んでみてください。
リモコンが動かない	<ul style="list-style-type: none"> ○電池の極性が表示通り正しく入っているか確認してください。 ○電池を新しいものと交換してみてください。 ○リモコンと本体の距離が開きすぎていませんか？ ○リモコンと本体の間に障害物があると、リモコンの信号が本体に届かない場合があります。 ○本体のリモコンの信号の受光部に強い光等が当たっていませんか？
操作を受け付けない	<ul style="list-style-type: none"> ○電源プラグをコンセントから抜き、もう一度差し込んで操作してみてください。

仕様

再生可能メディア	DVD-VIDEO、DVD+R/+RW、DVD-R/-RW(CPRM対応含む)、CD-DA、CD-R/-RW、VCD
対応フォーマット	DVD-R/-RW ビデオフォーマット(ファイナライズ済み) DVD+R/+RW ビデオフォーマット(ファイナライズ済み)、+VRフォーマット CD-R/-RW MPEG4(MS ISO)、XviD(Ver. 1.0x) MP3 ビットレート : 8K~320Kbps サンプリングレート : 8K~48KHz WMA ビットレート : 8K~192Kbps サンプリングレート : 8K~48KHz JPEG
映像方式	NTSC / PAL
画面表示言語	日本語 / 英語
出力端子	コンポジット映像出力端子×1 / S映像出力端子×1 / コンポーネント映像出力端子×1 / アナログ音声出力端子(L/R)×1 / 同軸デジタル音声出力端子×1 / 光デジタル音声出力端子×1
電源	AC100-240V~, 50/60Hz
消費電力	約 15W
外形寸法	約 (W)225 × (L)235 × (H)48 mm (突起部除く)
質量	約 1210g
使用環境	温度 : 5 ~ 35°C (結露なきこと) 湿度 : 41 ~ 91% (結露なきこと)

※ファイナライズ済みのDVD-R/-RW(ビデオフォーマットのみ)、DVD+R/+RWはDVDビデオとして再生できませんが、使用するディスクの特性、汚れ、傷、または記録状態や記録機器、記録ソフト等の特性などにより再生できない場合があります。

※CD-DAのフォーマットで記録された音楽用CD-R/-RWも再生できますが、記録状態によっては再生できない場合があります。

※CPRM方式で記録されたディスクは再生できませんが、記録状態によっては再生できない場合があります。

■商標について

記載のシステム名、製品名および会社名は各開発メーカーの商標または登録商標です。

※本書の内容を無断で転載や複写をしないでください。

※当社では常に製品の品質の改善を行っており、お客様のご購入時期によりましては同一製品の
中にも多少の差がある場合がございますがご了承ください。

※本書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。

※記載の外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※本書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。